東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所

## 不適合情報

2020年10月13日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード O件
- 2. G II グレード O件
- 3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備 考
1	1号機	原子炉建屋(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員の $\gamma \cdot \beta$ 線用警報付きポケット線量計が鳴動し、 $\gamma$ 線0. 13mSv、 $\beta$ 線0. 2mSvが記録されていることを確認した。作業エリアは0. 001mSv未満で同一作業者の線量も0. 0mSvであったことから線量計の異常と判断。当該線量計の使用を禁止し原因を調査。	2020/10/08	
2	7号機	原子炉建屋大物搬入口で安全対策工事に従事していた協力企業作業員が、伸縮継手保護カバーの位置を調整していた際、誤って左手親指をハンマーで打ち付け負傷した。業務車で病院に搬送し診断の結果、左母指末節骨骨折および左母指挫創と診断。当該事象の原因を調査。 【2020年10月9日公表済み】 https://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2020/2020100901p.pdf	2020/10/09	
3	その他	荒浜側焼却炉建屋排気筒放射線モニタ(B)の試験時、動作モードスイッチの動作不良を確認した。当該スイッチを点検・修理。なお、放射線モニタ(A)は正常で監視に影響なし。	2020/10/08	
4	その他	固体廃棄物貯蔵庫内詰所(非管理区域)入口扉の開閉時、閉まってくる扉のガラス部分を押し返したところガラスが破損し左腕を負傷した。業務車にて病院へ搬送し診断の結果、左上肢挫創と診断。当該事象の原因を調査。	2020/10/09	